

日本評価学会社会実験分科会 2020 年研究報告会プログラム(実績版)

2020 年 5 月 16 日(土)10:00-15:45

本研究報告会の共同ホスト:大島巖、河野摂、正木朋也、佐々木亮で実施致しました。

10:00-10:05 開会のご挨拶と参加の注意事項 正木朋也

10:05-12:00 パネルディスカッション「EBPM(エビデンスに基づく政策立案)の普及に向けて」

\*日本評価研究の EBPM 特集号(2020 年)の執筆者が各分野の最新の動向と課題を報告します。

司会: 津富宏 静岡県立大学

パネリスト: 正木朋也 国際協力機構/北里大学

田辺智子 国立国会図書館

小林庸平 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング

砂山裕 総務省(パワーポイントでの参加)

西畑宏治 東京大学公共政策大学院/(広島県)

森俊郎 岐阜県養老町立笠郷小学校・合同会社メック教育アドバイザー

佐々木亮 国際開発センター

12:00-13:00 (ランチ)

13:10-15:40 自由論題セッション:EBPM や定量的評価の動向に関する論文や定量的評価に関する実践報告

\*研究者の方々および実務家の方々の発表セッションです。英語での発表も奨励致します。

<セッションの進め方>

司会:佐々木亮。それぞれの発表は、発表 20 分+質疑応答 5 分です。最後に全体としての質疑応答 10 分がありますのでそれにもご参加ください。具体的な時間割:司会挨拶(5 分)、発表 1(20 分+5 分)、発表 2(20 分+5 分)、発表 3(20 分+5 分)、発表 4(20 分+5 分)、発表 5(20 分+5 分)、全体としての質疑応答(10 分)、司会総括(5 分)、予備(5 分)

1	プロペンシティスコアによる奨学金が学生生活に与えるインパクトの検証 The Impact of JASSO Loans on Student Living Using Propensity Scores	○西村君平 ○呉書雅 島一則 東北大学 理学研究科/理学教育研究支援センター・教育学研究科・教育学研究科
2	水道事業による裨益効果の実証分析/ミャンマー国マンダレーの水道事業を事例として Empirical analysis on the impact of piped water supply / Case study of water supply project in Mandalay city, Myanmar	○浅岡浩章 政策研究大学院大学 政策研究院 参与/リサーチ・アソシエイト JICA 研究所 客員研究員
3	普及と実装科学による評価の試み:JICA ヨルダン保健プロジェクトを事例として Evaluation using the Dissemination and Implementation Science (DIS) theory research: a case from the JICA health project in Jordan	○1.駒澤牧子 1.湯浅資之 2.白山芳久 3.佐藤美穂、4.駒澤大、5.アサル・ナハレ 1.順天堂大学公衆衛生学講座 2.順天堂大学国際教養学部 3.長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科 4.5. シリア難民ホストコミュニティ地方部における村落保健センターサービス強化プロジェクト
4	保健医療分野における政策評価支援の試み—インパクト評価に向けたコンテンツの開発と普及— Support trial for policy evaluation of Regional Health Plan - Development and dissemination of resources for impact evaluation	○1.松本佳子 2. 吉田真季 3. 前村聡 4. 埴岡健一 1.東京大学高齢社会総合研究機構 2.埼玉県立大学研究開発センター 3.日本経済新聞社 4.国際医療福祉大学大学院
5	Tech 業界における A/B test Theory and Practice of A/B experimentation at technology field.	○安井翔太 サイバーエージェント

15:40-15:45 閉会のご挨拶と御礼 正木朋也